

# ああ、 結婚！

—婚活日記—

第23回

黒田長宏

<2022年5月12日>

49回原稿を提出する。今回は50回ということなら、結婚を達成できれば良いのだが。

<5月30日>

某マッチングアプリの写真から自己紹介文からリニューアルした。

<6月8日>

マッチングアプリで、52歳の人がいいね！をくれたが、実子にこだわってしまう自分は、申し訳ないがそのままブロックした。これが一番優しい方法だろう。40歳の人がいいね！に応じってくれたら速攻でブロックになってしまった。何がいけなかったのだろう。もう疲弊している私。

<7月3日>

あまりにも変化がない。マッチングアプリも日常生活でも変化がない。結婚に向けての変化が出せない。だから書くことがない。これは逆に難しさを物語っている。結婚難に陥っている人の難しさを。

<7月29日>

某マッチングアプリも相変わらずなんにもないけど何か書かねばと思っていたら、上場企業勤務だという女性が「は？」「勝手に送ってこないでください」と書いてきてブロックしてきた。上場企業で怒りっぽくなってしまった女性なのだろうと思った。かわいそうに。だいたい、勝手に送ってくるなというと、どう送ればいいのかさっぱりわからない。

<8月3日>

今回も締め切りを25日近くまで伸ばしたとしても奇跡的な結婚には至らないだろうと思うし、近々、集落総出のお墓掃除や勤務先の都合があり、4回めの新型コロナワクチンの接種は初めてモデルナのワクチンなのでどうなのかとか、細かいところはいろいろあるので、それが済んでから原稿を提出しようかとも

思ったが、結婚難問題とは関連があるかという自信がない。しかし継続は力なりというのに、休みの日は必ず、某マッチングアプリの応募の追加とYouTubeのアップはしてきている。それなのにいつまで続くのかはコロナ禍同様、結婚難もわからない。ただ一般に多様性や自由などといって肯定的に安心させようとしているようだが、ライフサイクルとでもいうように、やはり何事にも旬というものはあり、年齢が20代や30代なら55歳の今よりもっと結婚の可能性は高く、多様性も自由もあつたものではないと思っている。自由や多様性で得をするのは若い男女のイケメンや美人であろう。しかしこれはこの日記に書いていたと思っていたが、書いていなかったのだ。

この間にTBSの『報道特集』で、精子を例えば女性同士のカップルにSNSから無償や有償で多目的トイレなどで会って渡して、実際に子供が産まれているという報道には衝撃を受けた。国家がはっきり認めている産婦人科などでは、プライバシーの厳格化などから精子提供は営業的に成り立たなくなり名前だけになっていると報道していたと思うが、SNSなどから個人的に妊娠しづらい夫婦などへ無償や有償で個人取引して、出産に至った事例もあり、それらはたしか違法とも言えないのは法整備がしっかりなされていないのではないかと思うが、私自身の問題から照らすと、私は55歳にもなってしまったが、実の子がこの世にいて欲しいとすると普通の方法では15歳は若い女性に協力してもらわねばならないのだろうが、某マッチングアプリにしても、15歳差の人に承諾を得るのは至難の業である。金持ちならきっと別腹なのだろうが。報道特集では記者が、精子提供者に、「無責任ではな

いのか」と詰め寄っていたが、自分の父母に遺伝子の流れを断ち切りたくないという思いがあるならば、精子提供という方法でも、それは可能なのかも知れないとも思ってしまったりする。産婦人科がプライバシーで提供者が不足するのは、例えば、産まれた子が大きくなると、遺産分割などで出てきて、難しい側面が出てくるかも知れないなどと説明が必要になったのも要因の一つだと言っていた気がする。日本では違法なのだろうが、世界規模では違法にされていない国もあるだろうことに「代理母」という方法もあるのかも知れない。ある人は、老後のお茶のみ友達みたいな女性でも、既に子供が産めないような年齢の人でも見つければという声も聞いた。確かに子供の頃はかなり年配だと思った年齢の女性が、俗に「美魔女」と言われるように、美しさを維持している女性は多い。某マッチングアプリでみると、30代以上にもなると、大企業勤務者などだろうか、500万円以上の収入なんて女性がいて、容姿もかなりの美人だったりする。

詐欺のケースは別にせよ、ならばどうしてそんなに有利な立場にいるのに、某マッチングアプリで異性探しなどするんじゃない。と悲しくなってしまう。書こうと思えば、一気にこんなに書いてしまうものの、いくら某マッチングアプリなどしても、効果が出ないと、書く気が失せる。変化がない。これで、女性のほうは、たくさんのお誘いをありがとう。だけど返事が遅くなってしまいます。なんてプロフィール欄に書いてある人が何人もいる。ではなぜ私にはそういうことが起きないのか。こういうところでも、男女平等、人間平等なんて一のは嘘っぱちだとわかる。そして都合の悪いことを書くと、反モラルだと言われて思考は淘汰されてしまう。

表現は抑えねばならない。ただ、自分自身でインターネット上にアップするところでは、ある程度、本来の仏さんになられたであろうから、瀬戸内寂聴への反抗心を、同じ宗徒のはしくれとして文句を言ったとしても、なんの訂正も受けないし、かといって、反応もない。AKBとかBTSだと怒られるのだろうか。そうしたYouTubeの切実な結婚難に陥っている社会状況をなんとか改善してくださいという訴えを続けて続けて現在のところ、登録者は132人となっている。感謝合掌である。